

# タイ王国ビジネスミッション参加者募集

和歌山県では、2019年にタイ王国工業省・商務省との覚書を締結し、経済交流・産業連携の拡大に向けた相互交流を行っておりますが、更なる機会を設けるためタイ王国投資委員会とも覚書を締結することとなりました。この機会を捉え、和歌山県及び（公財）わかやま産業振興財団では、タイへのビジネスミッションを実施します。

タイ王国における販路開拓、人材確保、資材調達、市場調査、拠点進出・投資、ビジネスパートナーの発掘などの経済活動をご検討中、もしくはご関心のある方は、各種支援メニューを準備いたしますのでぜひご参加ください。

なお、ジェットロ和歌山貿易情報センターによるカンボジア王国市場調査ミッションも同時開催されていますので、詳細は別紙をご覧ください。

## 1 ミッション概要

(1) 訪問場所：タイ王国 バンコク

(2) 実施期間：2023年10月16日（月）～10月19日（木）

\*航空会社座席混雑状況や現地受入等の理由により日程を変更することがあります。

\*現地途中合流、途中離脱も可能です（参加期間等は相談可）。

(3) 基本行程案

10月16日（月）関西国際空港発→バンコク着（TG623）

10月17日（火）泰日工業大学視察

タイ進出済みの県内企業視察

10月18日（水）タイ投資委員会（BOI）とのMOU（覚書）締結式

マッチング商談会 40分×3コマ程度

10月19日（木）市場調査（終日）下記①又は②のコースに分かれる想定

①小売市場調査（Icon Siam, Central Worldなどのショッピングモール）

②個別企業訪問（商談先・視察を希望する在タイ企業など）

バンコク発（TG622）【機内泊】

10月20日（金）関空着

※本行程は予定であり、内容が変更となる場合があります。

※航空券及びホテルについて、県からまとめて手配することも可能です。

(4) 募集企業：県内に事業所を有する事業者で、タイ王国への販路開拓、タイ王国からの調達、現地市場調査、拠点進出及び投資等に興味がある企業・団体等

(5) 募集企業数についての注意事項

参加申し込み企業が多数となった場合、抽選等により企業数を調整する場合があります。

(6) 費用負担：

【主催者負担】現地集団移動バス費用、共通行程において通訳費など商談の設定等にかかる費用

【参加者負担】航空運賃、宿泊費、食費、輸送費、保険費用等。また、共通行程から外れ、単独での行動を希望される場合に発生する費用（交通費やガイド経費、通訳費等）

(7) 主催：和歌山県、公益財団法人わかやま産業振興財団

共催：ジェトロ和歌山貿易情報センター

## 2 応募方法

ミッションに参加を希望される方は、エントリーシートに必須事項を記入の上、提出書類一式をわかやま産業振興財団までメール送付、持参又は郵送でご提出ください。

(1) エントリーシート（企業振興課 HP もしくは財団 HP からダウンロードできます）

県 HP：<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/061000/d00212682.html>

財団 HP：[https://yarukiouendan.or.jp/news/bm\\_thailand\\_2023/](https://yarukiouendan.or.jp/news/bm_thailand_2023/)

(2) 企業概要の分かるもの

(3) 商談会申込書 ※10月18日（水）の商談会に参加する方のみ提出してください。

※ミッション実施前（9月中）に参加者向けの説明会を開催しますので、ご参加いただきますようお願いいたします。

## 3 申込締切日：2023年8月10日（木）

## 4 申込・問合せ先

○ミッション内容や訪問先アレンジについて：和歌山県 企業振興課 担当 瀬川、魚井

TEL：073-441-2758

Email：[segawa\\_t0004@pref.wakayama.lg.jp](mailto:segawa_t0004@pref.wakayama.lg.jp)

○申込について：公益財団法人わかやま産業振興財団 経営支援部 担当 村田、橋詰、桑原、笠野

〒640-8033 和歌山市本町二丁目1番地 フォルテワジマ6階

TEL：073-432-3227 FAX：073-432-3314

Email：[kokusai@yarukiouendan.jp](mailto:kokusai@yarukiouendan.jp)

## 5 タイ投資委員会（Thailand Board of Investment (BOI)）について

本 部：バンコク（555 Vibhavadi-Rangsit Road, Chatuchak Bangkok）

設 立：1966年（2014年に工業省から首相府に移管）

理事長：プラユット・ジャンオーチャー首相兼国防大臣

長 官：Mr. Narit Therdsteerasukdi

事務所：タイ国内7か所、海外16か所（日本国内は東京と大阪）

概 要：

- ・投資促進において重要な役割を果たす政府機関です。
- ・タイ王国への投資企業に対する税制上の優遇措置を所管する組織で、タイ投資に関連する各種ビジネスマッチング支援のほか、ハイテク関連や伝統工芸分野等のタイ事業者の貿易支援を実施しています。

## 6 泰日工業大学 (Thai-Nichi Institute of Technology) について

所在地：バンコク (1771/1 Pattanakarn Rd., Suan Luang, Bangkok)

学 長：クリサダー・ヴィサワティラーノン氏

開 学：2007年6月

学 部：工学部、情報学部、経営学部

大学院：工学技術学、情報技術学、工業経営学、日本語・経営学、起業経営戦略企画学

学生数：3,777人 (2019年)

大学ホームページ：<https://admission.tni.ac.th/old/web/TNI2014-jp/>

大学案内：[https://admission.tni.ac.th/web/upload/files/guide\\_2020.pdf](https://admission.tni.ac.th/web/upload/files/guide_2020.pdf)

概 要：

- ・同大学は、タイ日友好とタイ産業界の人材育成を目的として設立された泰日経済技術振興協会 (TPA) を母体としています。
- ・日本的ものづくり思想のもと、専門能力、語学(英語・日本語)コミュニケーション力、管理基礎力、ビジネス実務の基となる社会人基礎力に焦点を当てて学生を育成し、産業界から高い評価を得ています。
- ・日本のものづくりに直結する、実務かつ実践的な技術と知識を兼ね備えた学生を育成しています。
- ・同大学は、製造業、ICT、商業など400社以上と連携し、タイと日本でインターンシップを実施しています。

※この項目は同大学 HP 等から引用しています。

## 〈ご参考〉タイ王国 基礎データ

### ○一般事情

- 1 面積 51万4,000平方キロメートル（日本の約1.4倍）
- 2 人口 6,617万人（2022年、タイ内務省）
- 3 首都 バンコク
- 4 民族 大多数がタイ族。その他 華人、マレー族等
- 5 言語 タイ語
- 6 宗教 仏教 94%、イスラム教 5%

### ○政治体制・内政

- 1 政体 立憲君主制
- 2 元首 マハー・ワチラロンコン・プラ・ワチラクラチャオユーファ国王（ラーマ10世王）  
（2016年12月即位）
- 3 議会 上院250議席、下院500議席
- 4 首相 プラユット・ジャンオーチャー（Mr. Prayuth Chan-o-cha）\*兼国防相

### ○経済

- 1 主要産業：農業は就業者の約30%を占めるが、GDPでは10%未満にとどまる。  
一方、製造業の就業者は約15%だが、GDPの約30%と最も高い割合を占める。
- 2 名目GDP総額：4,952億ドル（名目、2022年、タイ国家経済社会開発委員会）
- 3 一人当たり名目GDP：7,089.7ドル（2022年、タイ国家経済社会開発委員会）
- 4 経済成長率：2.6%（2022年、タイ国家経済社会開発委員会）
- 5 消費者物価指数：6.1%（2022年）、1.2%（2021年、タイ商務省）
- 6 失業率：1.2%（2022年第4四半期、タイ国家統計局）
- 7 総貿易額
  - (1) 輸出 2,871億ドル（2022年、タイ商務省）
  - (2) 輸入 3,032億ドル（2022年、タイ商務省）
- 8 日タイ主要貿易品目主要品目（2022年、タイ商務省）
  - (1) 輸出：機械、自動車・同部品、電子機器・同部品
  - (2) 輸入：原油、電機機器・同部品、機械・同部品、化学品
- 9 主要貿易相手国・地域（2022年、商務省）
  - (1) 輸出 1.米国 2.中国 3.日本
  - (2) 輸入 1.中国 2.日本 3.米国
- 10 通貨 バーツ（Baht）

\*令和5年3月3日時点 外務省資料から引用